

busworld®

EUROPE BRUSSELS

4-9 OCT 2025 

Busworld EUROPE2025 視察レポート



目次

- ・ busworld EUROPE 2025視察

busworld.

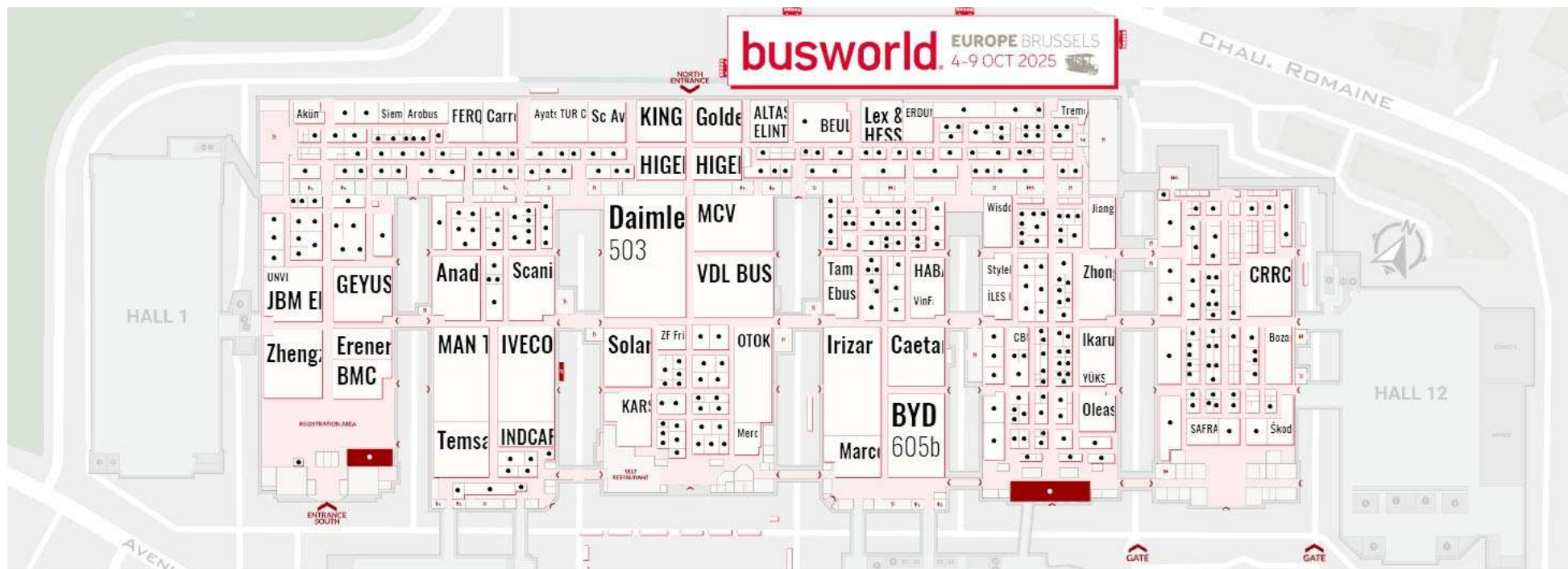
- ・会期：2025年10月3日～9日(3,4プレスデー)
通常は隔年開催。2021年はコロナで中止。
- ・場所：ベルギー ブリュッセル EXPO
- ・世界最大のバスショー
- ・ヨーロッパの他にイスタンブール、ジャカルタでも開催している
- ・車両の他にバス用部品の展示もある
- ・前回と比較して、入場者、出展社は増えたが、出展車両が減少した
- ・展示車両の8割がEV、FCEVのような感じだった。路線バス⇒観光バスまでもEV化が進んでいた

	来場者	来場者国	出展者数	展示車両数
2025年	45,427	101	559	238
2023年	40,120	111	526	251
2019年	39,798	143	511	309

busworld.



busworld.



今回は、40カ国から559社（前回526社）が出展、バスメーカーは81社（2023年は66社）で、209台のバスを屋内展示、29台の屋外展示が行われた。

展示車両を並べると、総延長は3.5キロメートルを超えという。

展示会場は82,000平方メートルで、東京ビッグサイトの約7割をバスとその関連部品等で埋め尽くされた形だ。

来場者数も増加し、101カ国から45,427人（前回40,120人）というバスだけの展示では驚異的な数に達しただけに、世界最大のバスショーと言われている。



商用バンルノーマスター E-Techがベース 22人乗り 路線バス 87kWhのバッテリー容量



商用バン ルノーマスター E-Techがベース 14人乗りシャトルバス 87kWhのバッテリー容量



マイクロバスとバンをラインアップ バスは9人乗り 100.9kWh(CATL製)のバッテリー容量



日本のEVモーターズジャパンが輸入している会社。6,7,7.5mをラインアップに持つEVバス。



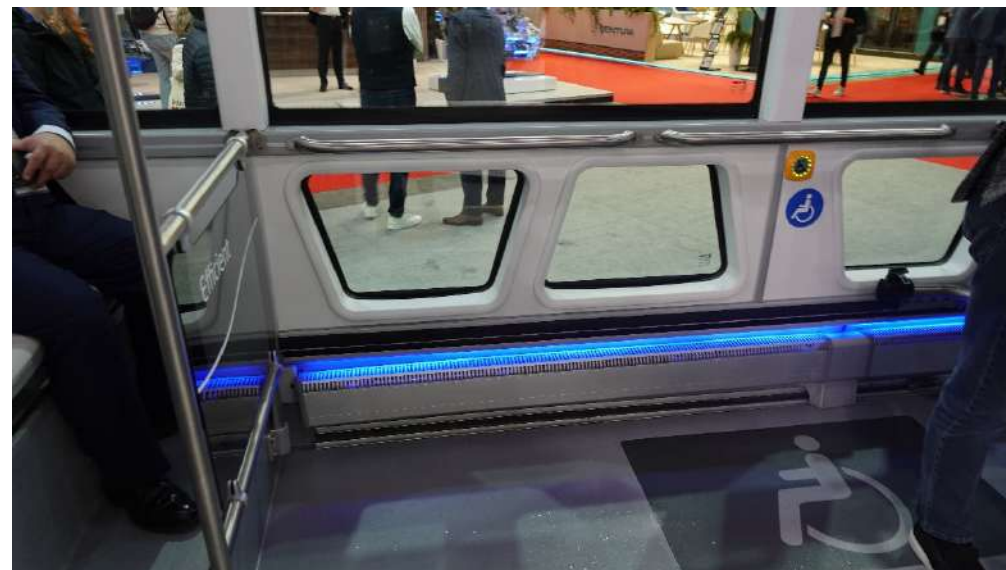
全長5.5mのミニバス。75と89kWhの2種類のバッテリー容量。



初出展。8mと12mの2台を出展。359と422kWhのバッテリーを搭載するヨーロッパモデル。



乗用車メーカーMGがEVバス分野に進出した。12mのEVバスとそのシャシを展示。



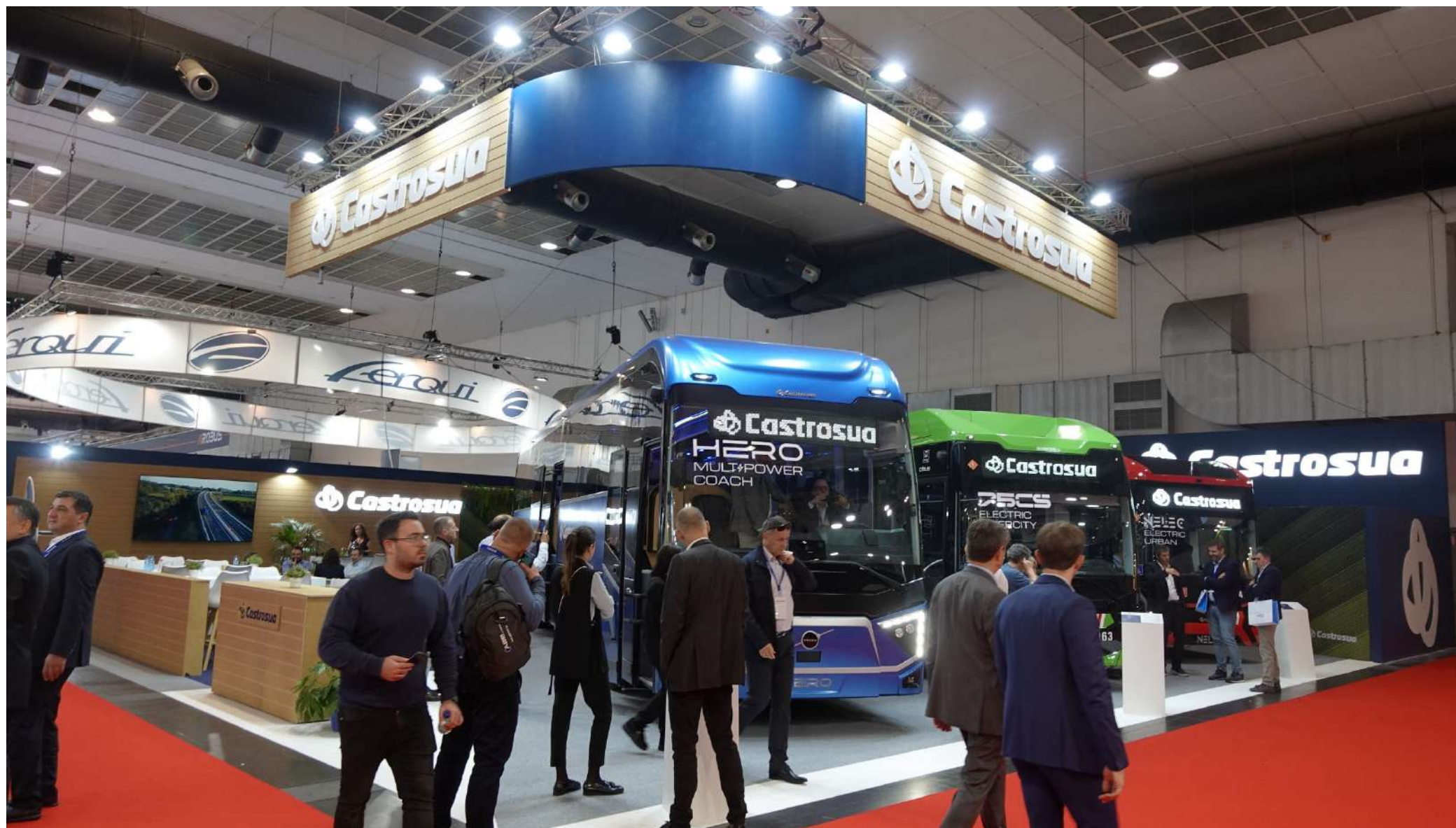
新型のEVバスieを発表。500kWhのバッテリーを搭載し、側面の下側にも窓を持つ。



新型の10.5mの路線EVバスを発表。最大400kWhのバッテリーを搭載する。



新型12mの路線EVバスと14mの観光EVを発表。400kWhと480kWhのバッテリーを搭載する。



VOLVO、SCANIA、BYD、IVECO等のシャシを架装するコーチビルダー。



シャシを含め6台のEVバスを出展。



HIGER(中国)



KINGLONG(中国)



GOLDEN DRAGON(中国)



WISDOMMOTOR(中国)



日本とはラインアップが異なる。ANADOLU ISUZU。



VDL/VANHOOL(オランダ)



MCV(エジプト)



EBUSCO(オランダ)



JBM(インド)



EVバス5台を展示。写真は、15m。航続距離は850km。



インターシティEVバスを展示。207kWhのLFPバッテリーを搭載。路線、連接EV、FCEVバスも出展。



路線EVとインターシティEVバスを展示。インターシティは346kWhのバッテリーを搭載。



Irizar製とCAETANO製のインターシティEVバスを展示。445kWhと534kWhのバッテリーを搭載。



観光EVバス。704kWhのバッテリーで850kmの航続距離を持つ。



観光EVバス3台と路線EVバスを出展。いずれも最大481kWhのバッテリーを搭載する。



528kWhのバッテリーを搭載し450kmの航続距離と145人の定員を持つ。



最大746kWhのバッテリーを搭載し630kmの航続距離と146人の定員を持つ。



最大640kWhのバッテリーを搭載し650kmの航続距離と160人の定員を持つ。



YUTONG(中国)



CRRC(中国)



ANKAI(中国)



ZHONGTONG(中国)



Citaro FUEL CELL(ドイツ)レンジエクステンダー トヨタ製60kWスタックを搭載



C127FC バラード製100kWを搭載



FCEV 100kWのFCスタックと40kg(35MPa)の水素を搭載する。



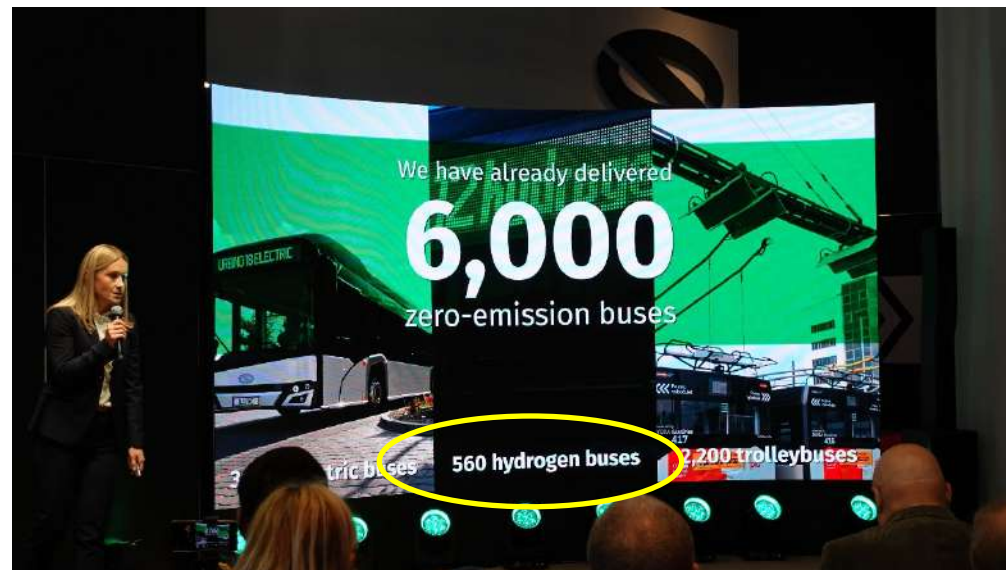
FCEV 97kWのトヨタ製スタックと1,670ℓの水素を搭載し600kmの航続距離をもつ。



FCEV TAMブランドだが韓国現代製 90kW現代スタックと35,15kg@70MPaの水素を搭載する。



FCEV バスワールドでワールドプレミア。トヨタ製2.5世代のスタックを搭載。35MPa。



FCEV バラード製100kWのFCスタックを搭載。51.2kgの水素を搭載し600kmの航続距離をもつ。



KARSAN(トルコ)



KARSAN(トルコ)



OTTOKAR(トルコ)



BLEES(ポーランド)



バスワールド唯一と思われる観光型PHEV。最大80kmの航続距離をもつ。



SETRA(ドイツ)



NEOPLAN(ドイツ)



VANHOOL(ベルギー)



Marcopolo(ブラジル)



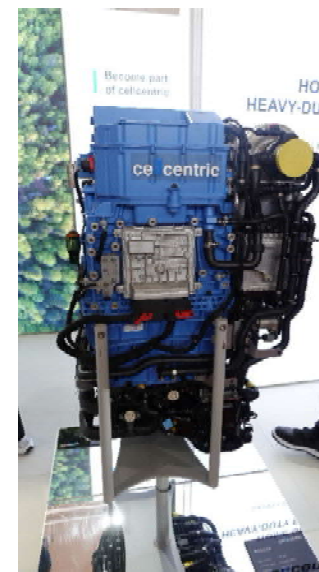
第二世代のFCスタック等を展示。トヨタスタックを搭載したFCEVバスも数台会場内に展示有り。



初出展。GMと共同開発のFCスタックを展示。バスへの参入に意欲。



BARARD FCスタック (カナダ)



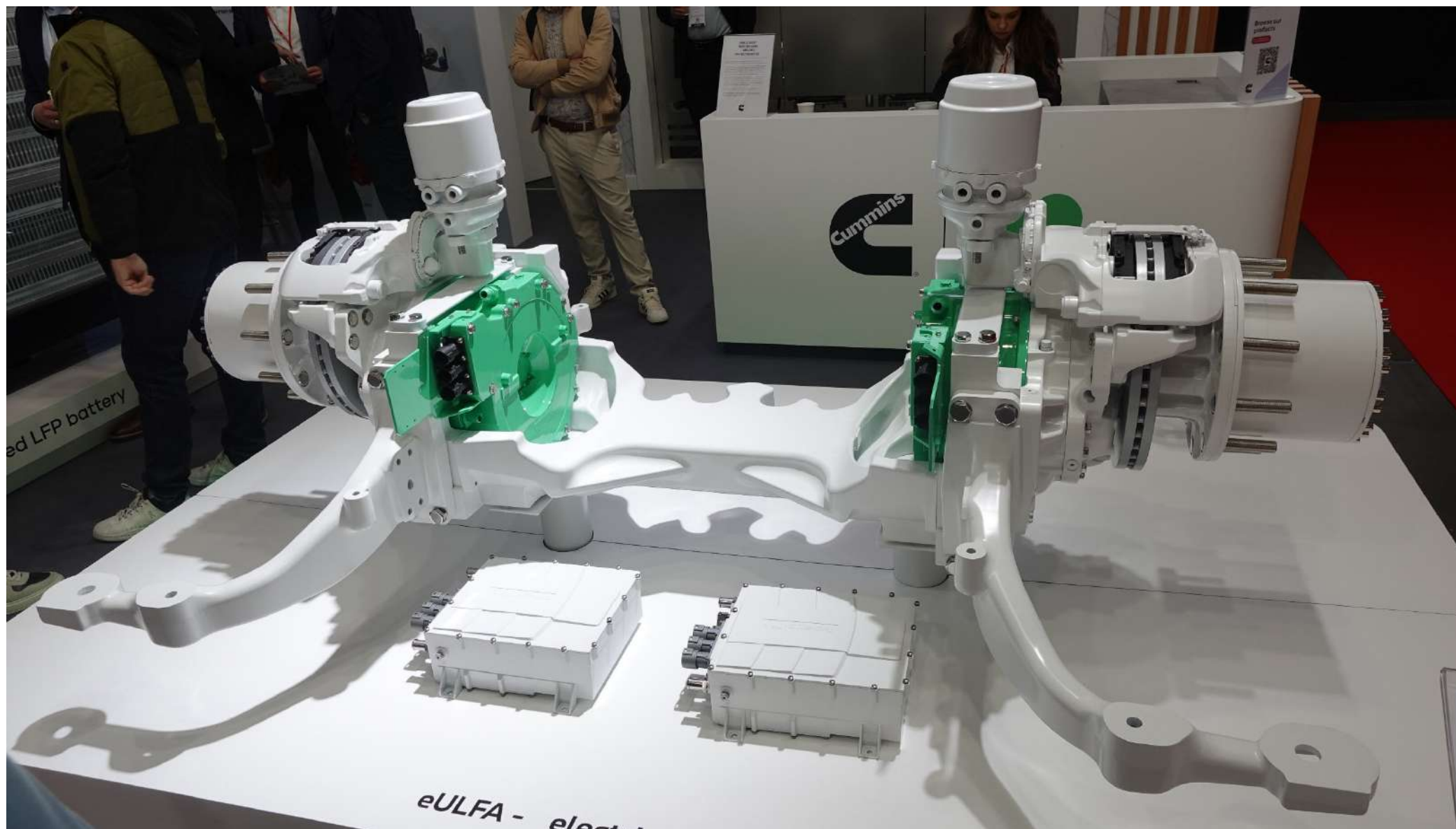
Cellcentric(ドイツ)



BOSCH FCスタック(ドイツ)



SYMBIO(フランス)



Acceleraブランド。バス用モーター。



EKO(ポーランド)1000kW & 1500A。



Mercedes-Benz(ドイツ) 400kW

まとめ

- 小型EV等の出展が減少した。例、メルセデスベンツ スプリンターを改造したバスなど。
- 出展国も多少減少。中国、トルコが中心になってきた。インドからも出展があった。
- 路線EVバスはもはや街中で見るようになり、インターシティ（都市間バス）のEV化、中国勢では、観光型EVの出展も出てきた。
- バッテリー容量もこの2年で、路線は400⇒500kWhに、インターシティでは600kWh以上に、観光バス、接続バスでは700kWhを積む。
- 路線EVバスが中心で増加しているが、FCEVバスは多少減少している。前回13台が10台程度。
- トヨタ、ホンダがFCスタックの展示初出展。



お問い合わせ先: 株式会社東京アールアンドデー営業部
担当: 森竹 智法 (moritake.tomonori@tr-d.co.jp)
住所: 神奈川県厚 木市 愛甲東 1-25-12
電話: 046-227-1101
HP: <https://www.tr-d.co.jp/>